

がん医療の現在 がんプロフェッショナル 養成プランへの取り組み

日本のがん医療の質的向上と人材養成を目的とした文部科学省によるプロジェクト「がんプロフェッショナル養成プラン」が全国で展開されている。採択された18件のプランは、いずれも複数大学の連携により進められ、各大学の特色や地域特性を活かしたテーマを掲げ、様々なプログラムを実行している。今回も、がん医療教育の基盤強化に意欲的に取り組む3つのプランを紹介する。

北東北における総合的がん専門医療人の養成

—がん多発地域におけるがん医療均てん化のための全人的がんプロフェッショナル育成システムの構築—
【共同申請大学】 秋田大学 弘前大学 岩手医科大学 岩手県立大学



本橋 豊
秋田大学大学院
医学系研究科長・医学部長



羽瀨 友則
秋田大学大学院 医学系研究科
腎泌尿器科学 教授

北東北はがん医療の充実が求められている地域

北東北3県(秋田県、青森県、岩手県)のがん医療は、熱意ある地域の医療人に支えられてその技術レベルは着実に向上しているものの、かねてから指摘されているように、がん死亡率が他地域に比べて高いことも事実です。その背景には、広大な医療圏に医療過疎地域が多いことに加え、がんを専門とする医師やコメディカルが慢性的に不足していることが挙げられます。そこで、北東北はがん医療の充実が必要とされる地域であるとの共通認識のもと、

秋田大学、弘前大学、岩手医科大学、岩手県立大学の4大学共同で、がんプロフェッショナル養成プランに取り組むことになりました。

「北東北における総合的がん専門医療人の養成」という共通理念を掲げてスタートした本プランでは、4大学がそれぞれの特徴を活かした取り組みを展開しています。秋田大学では、がん専門医の養成を中心に、特に化学療法に長けた腫瘍内科医を増やすことに主眼を置いています。放射線治療の実績が豊富な弘前大学では、放射線腫瘍医や医学物理士の養成に主要な役割を果た

しています。岩手医科大学では、すでに地域で活躍されている医師をがん専門医に育成するインテンシブコースや先進医療研究に注力しています。そして、大学院に看護学研究科を有する岩手県立大学では、がん専門看護師の養成に特化して取り組んでいます。各大学の役割分担を明確にし、不足する部分は相互補完を通して全体のレベルアップを図り、地域の中でがん専門家を着実に増やしていきたいと考えています。

がん医療コンソーシアムの設立により臨床研究を支える

効率的に本プランを運営していくために、インターネットを介した遠隔授業システムを整備し、これにより各大学の重点領域の講義を連携大学間で共有するとともに、一定の講義では単位互換も認めています。今後は、各大学のカリキュラムを持ち寄り、重複している講義はなるべく1本化し、合同セミナーも単位の対象にするなど、単位取得の機会拡大を図っていく考えです。

また、「COE(center of excellence)の研究基盤の活用」も本プランの特色

の1つです。秋田大学は、文部科学省グローバルCOEプログラム(平成19~23年度)の生命科学分野における採択拠点になっており、その前身である21世紀COEプログラム(平成14~18年度)においても、その成果は高い評価をいただいています。そこで、本プランのカリキュラムに、秋田大学のグローバルCOE中核メンバーによる最先端の講義を導入しました。がん遺伝子や分子生物学的メカニズムに関する講義などは、受講者に好評を博しています。

さらに、医学系大学院の学位は、伝統的に基礎研究で取得する傾向がありますが、今回のプランを契機に、臨床研究やトランスレーショナルな研究による学位取得の道を拓いていきたいと考えています。北東北では2008年7月、がん医療に携わる関係機関が連携・交流を図ることによりがん医療の均てん化を目指す「北東北がん医療コンソーシアム」が設立されました。このコンソーシアムでは、がん登録や治療成績データの管理にも取り組むため、北東北におけるがん診療の精度向上への寄与に加え、本プランによる臨床研究を支える重要なデータベースとして活用されることも期待しています。

がんプロメンバーズサイトでがん関連情報を幅広く配信

4大学の連携強化と本プランの確実な展開を図るために、各大学の代表者が集まる「北東北がん治療カンファレンス」を年3回開催しています。また、地域の医療人への啓発と人材養成を目的とする「FD(faculty development)ワークショップ」も同時開催し、各大学の取り組みが一定レベルに保たれるようにしています。これまでのワークショップでは、本プランの概要をはじめ、何を学べばどのような資格が取得できるのかといった具体的な説明のほか、放射線、緩和ケア、サイコロジコロジーなどをテーマに取り上げてきましたが、今後は従来の講演会形式から参加型のワークショップ形式に発展させ、教育効果の向上や人材発掘・育成について論じる場にしたいと考えています。

さらに、インターネット上に「北東北がんプロメンバーズサイト」を本年開設しました。これは、北東北3県のがん診療に関心を持つすべての医療従事者、研修医、大学院生、医学生などが登録すれば無料で利用できるサービスであり、前述のFDワークショップや様々な講演会の内容もここから視聴できるほか、本プランに関連するイベントのスケジュール、専門医や認定医試験の詳細、がんに関連する最新の情報なども配信しています。

がん医療の現在

がんプロフェッショナル養成プランへの取り組み

北東北のがん医療を末永く支えられるシステムに

本プランの取り組みを開始したことで、4大学間の連携がこれまで以上に強化され、それぞれの教育の質的向上にもつながっています。初年度は遠隔授業システムの構築に多くの時間を費やしましたが、今後は授業内容の改善や単位取得が可能な合同集中シンポジウムの運営、学位取得を目指した臨床研究の推進など、次なる課題に踏み込んでいく予定です。

本プランを遂行する5年間は、実際には、北東北においてがん専門医療人を養成するための教育基盤を構築する期間と捉えています。したがって、本プランの終了後もこの取り組みを継続し、いかにソフトランディングさせるかが真価の間われる課題となります。北東北のがん医療を末永く支えられるシステムとして発展させていくために、今後も真摯な努力を続けていきたいと考えています。

